

災害がゼロの場合でも、労働者数と延労働時間数および年齢別労働者数を記入し、提出願います。

# 労働災害統計票(平成 25/4～平成 25/9)

●協会ホームページにはエクセル版の提出用紙があります。

↓所属支部を記入

計・度数率・強度率の欄が自動計算なのでご活用ください。 <http://www.roaneikyo.or.jp>

<b>提出先</b>	<b>支部</b>
労働災害統計委員 殿	

事業場名

担当者所属・氏名

TEL

## 1. 月末労働者数・延労働時間数および労働災害による死傷者数

別紙記入要領を参照のうえご記入ください

区分 月別	労働者数 (人)	延労働 時間数 (時間)	労働災害による死傷者数					損 失 日 数
			死 亡	永久全 一部労 働不能	休 業 (4日以上)	休 業 (1～3日)	計	
25/4月								
5月								
6月								
7月								
8月								
9月								
計								

延労働時間数 = (出勤延人員 × 所定労働時間) + 時間外労働時間数

労働災害による死傷者数  
度数率 =  $\frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延労働時間数}} \times 1,000,000$

強度率 =  $\frac{\text{損失日数}}{\text{延労働時間数}} \times 1,000$

少数点以下  
3位を四捨五入

## 2. 年齢別労働者数

## 3. 災害内容分析

(※1)

(平成 年 月末現在)

(1) 被災者の年齢別および経験年数別 (労働災害による死傷者数を分類し記入する)

満年齢	労働者数 (人)
20歳未満	
20～29歳	
30～39歳	
40～49歳	
50～59歳	
60歳以上	
計	

経験年数	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 10年未満	10年以上	計
20歳未満					
20～29歳					
30～39歳					
40～49歳					
50～59歳					
60歳以上					
計					

(※1)

(2) 災害発生原因の態様 (労働災害による死傷者数を分類し記入する)

不安全な人的要素 不安全行為	指図を無視した	知っていて やらなかった	他のことを 考えていた	とっさの 処置をした	安易な気持ちで あった	習慣的 (慣れ)と なっていた	作業に不慣れ 未熟であった	安全知識が 不足していた	心身不調であった	第三者に 要素があった 不安全	その他の不安 要素	計
合図、連絡が不徹底のまま動作した												
安全装置を無効にした												
機器の操作を誤った												
間違った機器を使った												
無理な姿勢で動作した												
確実に持たなかった												
作業状態を確かめなかった												
保護具の使い方が悪かった												
第三者に不安全行為があった												
その他の不安全行為												
計												

(※1) は同一数字となる

(※1)